

# コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会



目次

contents

- P1 ■いつまでも現役！  
アクティブシニアの活躍推進  
～埼玉県の「社会参加支援」を紹介します～
- P2 ■平成28年度定期総会開催報告  
・会長挨拶  
・永年表彰  
・共助事例発表会
- P3 ■市町村コミュニティ協議会の取組
- P4 ■会員紹介



彩の国  
コミュニティ協議会  
マスコット  
サイコミ君

## いつまでも現役！ アクティブシニアの活躍推進

～埼玉県の『社会参加支援』を紹介します～



団塊世代がすべて65歳に達し、高齢化のスピードに加え、数の多さもクローズアップされている昨今。いよいよ本格化する超高齢社会では、社会活力の低下などが懸念されています。

しかし、最近のシニア層は、仕事や趣味に非常に意欲的で、社会に対してもアクティブに行動しています。

「社会に支えられる人」から「社会を共に担う人」へ。

アクティブシニアの皆さんが地域に「興味を持ち」、社会に参加する「きっかけづくり」を支援する埼玉県の取組を御紹介します。

### ボランティア入門講座

「ボランティアに興味はあるけれど、何をすればよいのか分からない」。そうした声を受けて、(公財)いきいき埼玉では、社会参加の「きっかけづくり」となる、「いきいきボランティア養成講座」を開催します。



ボランティア入門講座の様子

### 地域デビューの支援

「これからは地域と関わり、ボランティア活動に参加したい」「元気に仕事や社会貢献したい」。そんなシニアの「地域デビュー」を県とモデル市町村が連携して後押しします。

平成28年度は、県の助成を受けて7つのモデル市町(東松山市、蕨市、北本市、幸手市、鶴ヶ島市、鳩山町、寄居町)が事業を実施します。

### 専門家ボランティア登録制度

「現役時に仕事で培った経験やスキルを生かしたい」とお考えの方は、ぜひ専門家ボランティアバンクに御登録ください。NPOや商店街等の求めに応じてボランティア活動の場を紹介します。

連絡先 埼玉県共助社会づくり課 TEL048-830-2817



専門家ボランティアリーフレット

## 「シニア・ドリームフェスタ in SAITAMA」開催

参加費  
無料

シニアの方はもちろん、全世代の方が楽しめるイベントを御用意しています。ボランティアブースもあり、新しい自分を見つけられるかも! 皆様の御参加をお待ちしています。

日時: 11月12日(土) 午前10時～午後4時  
会場: ウェスタ川越(川越市新宿町1-17-17)  
主催: 埼玉県

連絡先 埼玉県シニア活躍推進課 TEL048-830-4539







# 定期総会開催報告



平成28年6月1日（水）平成28年度定期総会を開催し、多くの方々にご出席いただきました。役員表彰や事例発表会が行われたほか、平成27年度の事業報告や平成28年度事業計画等について審議が行われ原案どおり承認されました。

## 会長あいさつ

本日は、平成28年度彩の国コミュニティ協議会定期総会を開催したところ、役員の方々をはじめ会員の皆様には大変お忙しい中御出席いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化の進展により、我が国はやがて1人で1人の高齢者を支える「肩車型」社会になると言われております。「団塊の世代」が75歳以上となる「2025年」に向けて、医療・介護などの備えをきちんと整えておかなければなりません。同時に、高齢者は「支えられる人」から「社会を担う人」へと概念を変えなければならないと私は思っております。実際、高齢者の10人のうち8人は、社会参加が可能な元気な高齢者と言われております。地域社会は既にこうしたアクティブな高齢者によって支えられています。

また、今年の4月に発生した熊本地震のような災害への対応においても、日頃からの地域社会の見守り活動や防災力が生きてきます。そうした活動が盛んなところほど立ち上がりが早く、回復力も早い。これも地域力です。こうした地域力を防犯や青少年の健全育成など様々な分野に生かすことができるように、引き続き共助社会づくりを進めていかなければなりません。

共助社会づくりのために、「コミュニティ協議会」が果たす役割は大変大きなものです。どうぞこれからも皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



彩の国  
コミュニティ協議会会長  
埼玉県知事  
上田 清司

## 永年表彰

彩の国コミュニティ協議会及び市町村コミュニティ協議会の役員として20年以上にわたり尽力された2名の方に対し、永年表彰を行いました。受賞の皆様おめでとうございます。



藤波 光子氏  
八潮市コミュニティ協議会



加藤 克行氏  
伊奈町コミュニティづくり推進協議会

## 共助事例発表会

次の3つの団体に活動を発表いただきました。



芝園かけはしプロジェクト

### 「開放型コミュニティにおける学生の挑戦と役割」

近隣の大学生たちと自治会が、芝園団地に居住する日本人住民と2000人を超える外国人住民のかけはしとなる活動をしています。

「国籍・年齢を問わず誰もが住みやすいまちづくり」に取り組んでいます。

### 「地域活動入門講座」

団塊の世代の退職によって地域に還元される人材資源の活用と地域コミュニティの宝である「人」がつながるきっかけづくりとして「地域活動入門講座」を実施しました。



八潮市コミュニティ協議会



秩父市自治会連合会

### 「セーフコミュニティ推進事業」

WHO（世界保健機関）が推奨する国際認証制度で、「事故やケガは原因を分析して予防することができる」という考えに基づき、様々な分野の人たちが協働して予防対策を行う「共助」の力により、安心・安全のまちづくりを推進しています。



# 市町村コミュニティ協議会の取組



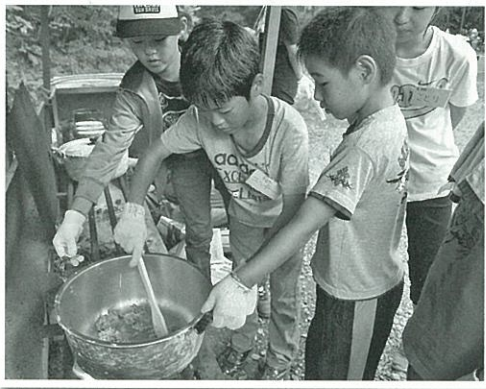
彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う共助社会づくり事業に対して助成をしています。今年度の助成事業について、一部御紹介します。

## 青少年サマーキャンプ(桶川市コミュニティ協議会)

平成28年8月13日(土)から14日(日)にかけて、小学3~6年生を対象とした「青少年サマーキャンプ」を実施しました。

このキャンプは、子供たちの自主性や協調性を育むことを目的として、桶川市青少年相談員協議会の協力を得て実施しています。今回は、40名の子供たちが野外活動を通し交流を深めました。

1日目は、参加した子供たちが5つのグループに分かれ、川遊び、火起こし教室、夕食作り、



たき火でカレー作り おいしくできました。



火起こし教室の様子

キャンプファイヤーを行いました。火起こし教室では、初めて見る道具に最初は戸惑いを見せていた子供たちでしたが、終盤にはコツを掴み、無事に火を起こすことができました。

夕食作りでは、自分たちが起こした火で、カレーライスを作りました。たき火で炊いたご飯はふっくらつやつや。子供たちは「私たちのグループが1番おいしい!」と満足そうでした。

2日目は宝登山ロープウェイに乗りました。頂上で長瀬の壮大な風景を満喫することができました。

## わこう郷土かるた遊び(和光市コミュニティ協議会)

「郷土かるた」を御存知ですか。

「郷土かるた」とは、郷土の代表的な自然や偉人、歴史、産業などを詠み込んだかるたです。住んでいる地域の魅力を理解・再発見し、地域への愛着を深めるきっかけづくりとして多くのかたに親しまれています。和光市コミュニティ協議会では、子供たちに地域の魅力を知ってもらうため、「わこう郷土かるた(わこうっちかるた)」を活用した「かるた遊び」を、市内の保育クラブで実施しました。

はじめに、和光市コミュニティ協議会の皆さんから、かるた札の内容について説明がありました。経験豊富な皆さんからの実体験を交えた話に、子供たちからは「行ったことあるけど、そんな場所だったなんて知らなかった」「今度行ってみたい!」などの声があがります。説明の後、3~4人のグループに分かれ、対戦を行いました。札が読み上げられる度、子供たちは一喜一憂。「こんなに札とったよ!」と笑顔を見せていました。



対戦中。真剣な眼差しです。



参加者の皆さん

### ~わこう郷土かるた(わこうっちかるた)のご紹介~

読み句、絵札は公募により選定。和光市からの協働型委託を受け、平成26年に商工会青年部が作成しました。市内の小学校や児童館、保育クラブなどに無償配布されています。





# 会員紹介

## 彩の国コミュニティ協議会の 会員を紹介します



### 東日本旅客鉄道株式会社大宮支社



出前授業の様子

JR東日本は、より地域に密着したサービスを提供するため、2001年4月1日に大宮支社を設立しました。5方面に伸びる新幹線「東北(北海道)・秋田・山形・上越・北陸の各新幹線」の要である大宮エリアを中心に、首都圏ネットワークを活かし、1日に約2,200本の列車を運行し、約300万人のお客さまにご利用いただいております。

当社では、持続可能な社会づくりに貢献するため、次代を担う子どもたちに対し、「環境問題」や「社会とのつながり」を理解してもらうための環境教育プログラムを2009年度より実施しています。2013年度からは社員が直接学校へ出向く「出前授業」を実施し、大宮支社でも県内の学校へ出向き、学校教育のサポートをしています。実施している内容は、2種類あります。

「鉄道と情報ネットワークの秘密を探れ!」は、小学校5年生の社会科でご活用いただける内容(約90分)です。生活を支える鉄道の働きについて考える「社会科教育」、鉄道に携わる人々の努力や工夫について考える「キャリア教育」、循環型社会を支える鉄道の働きについて考える「環境教育」があります。

「環境にやさしい鉄道の秘密を探れ!」は、小学校高学年を対象とし、総合的な学習の時間などでご活用いただける内容(約45分)です。社会インフラとしての鉄道会社の役割を理解し、その役割を果たすために、鉄道会社が行っている「省エネルギー車両」や省エネルギー・再生可能エネルギーなど、様々な環境保全技術を駅に導入する取り組み「エコステ」、ゴミの「リサイクル」の取り組みについて、環境の観点から伝えます。

今後も、当社では引き続き、この取組を進めていきます。

### 公益財団法人埼玉県学校給食会

埼玉県学校給食会は、昭和31年3月に学校給食物資の供給と学校給食の普及奨励を図る事業を目的に財団法人として発足、平成24年4月から公益財団法人に移行し現在に至っています。

本会の事業は大きく分けると「学校給食用食材の安全確保及び安定供給に関する事業」と「学校給食の普及充実及び学校における食育の支援に関する事業」の2つになります。

子供たちに提供する食材は、何よりも安全・安心の食材でなければなりません。そのため、本会の食品検査室での自主検査(細菌検査・理化学検査)、外部専門機関での残留農薬や放射性物質等の検査により安全を確保しています。

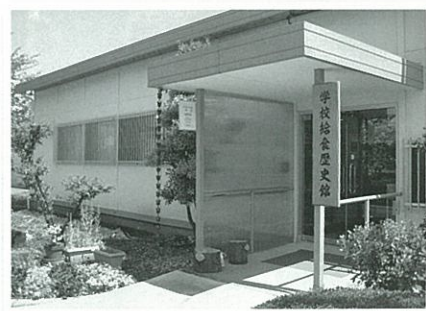
また、提供する食材も埼玉県の農畜産業振興策としての「地産地消推進運動」に全面的に協力し、学校への県産米の提供や県産小麦を使用したパン・めん  
の供給を行っています。

普及充実、食育支援事業では、栄養教諭等を対象とした調理コンクールを始め各種講習会や研修会の実施、保護者・児童生徒を対象とした親子料理教室、パン作り体験等を開催し学校給食の普及充実・食育支援に努めています。

平成22年7月には、学校給食への理解と学校における食育を支援する施設として、全国的にも初めてとなる「学校給食歴史館」を北本市に開設いたしました。入場無料ですので、児童生徒・学校給食関係者をはじめ、多くの県民の方々のご来館をお待ちしております。



調理コンクールの様子



学校給食歴史館